

2009年度事業がスタートしました

5月3日、22名の委任状及び24名のご参加をいただき、2009年度総会を無事に終える事が出来ました。ありがとうございました。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

上世屋で上映会を開催しました

6月12日に上世屋自治会・松尾自治会主催、里山ネットワーク世屋協力のもと、上世屋公民館にて映画「天国はまだ遠く」の上映会がおこなわれました。昨年秋に一般公開された映画ですが、撮影場所になったにも関わらず、ほとんどの住民の方々が見ておられないとの現状から「村のみんなで観たい！」と開催されました。上世屋・松尾住民を中心に27名の参加がありました。



■ □ 活動報告 □ ■

【主催】農から食までプロジェクト～伝統食をまなぶ

日時：2008年12月11日(木)そば打ち、12日(金)豆腐
参加者：福田彩、水島真、佐藤宏弥、溝口喜順、丹羽建二、磯田有美恵
講師：小川達雄氏(上世屋)、大江千代子氏(上世屋)

福田彩 (京都府立大学)

生まれて初めて豆腐を作りました。

私はいつもスーパーで豆腐もおからも豆乳も買います。それらが同じ大豆からできているということは頭ではわかっていましたが、豆腐を作る工程でそれらが出来上がっていくのを目の当たりにして「ああ、なるほど」と感心してしまいました。ミキサーにかけてどろどろになった大豆を煮て、しぼり袋でしぼると、豆乳とおからができる。その豆乳ににがりを加えると、汁がオラオラしてきて(おばあさんはこう表現していました)、布を敷いた型に流すと豆腐ができる。実際に体験してみないとわからないことがたくさんあると感じました。

指導して下さった千代子さんの教え方は本当におおざっぱで、分量も適当です。きっと長年の経験によって体に染み付いた感覚があるのだと思いました。その時の分量や火の加減によって臨機応変に対応していきます。しかし、はじめのミキサーがけが足りなかったことや水の量が多かったことなどから、にがりをたくさん入れてもなかなか豆腐が固まらず、さすがの千代子さんも困ってしまったようでした。それでも何とか無事に豆腐が完成したときはとても感動しました。自分たちで作った豆腐は、大豆の味も濃く、とてもおいしかったです。そして、

粒の大きなおからも良いお土産となりました。

また、今回使用した道具の使いやすさも強く感じました。しぼり袋の口が広く、桶にすっぽり収まったことや、混ぜたりおからをしぼるときに使った棒の握りやすさ、豆腐の型の使いやすさが印象的でした。豆腐を作るために道具を作り、その使い込まれた道具によって豆腐作りが続けられてきたのでしょう。それを体感できたことはとても良い経験となりました。

そして、豆腐作りの手順はとても単純だったので、ちゃんとした道具はありませんが、家でもまた作ってみようと思います。



【受け入れ】田舎で働きたい～ナイス(日本国際ワークキャンプセンター)共催

日時: 2009年3月21日(土)～27日(金)

参加者: 安野真由(京都)、下村あかり(山口)、大澤茜(東京)、山浦和徳(長野)、角田佳奈美(神奈川)、吉井久乃(ナイス)

作業指導・協力: 小川雅道氏、井之本泰氏、坂田正美氏、上世屋のみなさま

3月に農林水産省農村活性化人材育成派遣モデル事業としてNPO・NGO日本国際ワークキャンプセンター(ナイス)と共催で「田舎で働き隊」の受け入れを行いました。田舎暮らしに興味のある若者5名がぶーたんに1週間滞在しながら以下のような作業をしてくれました。

- 3/21(土) 集合、オリエンテーション
- 3/22(日) 上世屋散策、ぶーたんの雪囲い撤去、交流会
- 3/23(月) 棚田の整備作業、餅つきと座学
- 3/24(火) ぶーたん片付け、大豆の殻とり
- 3/25(水) 雪囲い撤去、ぶーたん片付け、大豆殻とり
- 3/26(木) ぶーたん片付け、大豆殻とり、交流会
- 3/27(金) 反省会、解散

参加者達にとっては初めてだらけの作業をよく頑張ってくれました。お陰さまでぶーたんもすっきりと大分片付けました。二日にわたる断水や雪など予想外の事も起こる中で、1週間のぶーたん滞在を振り返ってくれました。

① 楽しかった思い出は？

- ・メンバーと村の人に会えてよかった。
- ・村の方との交流やメンバーと過ごす時間が楽しかった。料理も毎回おいしく食べれた。いい写真が撮れた。
- ・日本の田舎というものを少し理解できた。食べ物大切さを実感した。農業の大変さが理解できた。
- ・村の人たちの優しさやあたたかさを心から感じられた。
- ・大豆からつくったおから&豆乳のおいしさに感動した。大豆が若い時は枝豆だという事実にも驚いた。

② 世屋に対して感じたことは？

- ・街から少し登っただけで、こんな集落があって不思議な所だと思った。
- ・昔ながらの生活と自然が残り、素敵な所。とても落ち着いた。
- ・限界集落なのに、人々はこの村を愛して村を守ろうとしているところが良かった。少人数だからこそ団結していて、強い集団だと感じた。自給自足は素晴らしい。
- ・都会にはない人とのふれあいがあり、交流があり、素敵な人がいて・・・また来たい。
- ・私の祖母よりも年上の方が元気に生活している姿は素晴らしい。街にはない温かさがある。限界集落といわれる状態で(村を)維持していくのは難しいと思うけれど、残っていったら良いと思うし、たくさんの人にこの場所が伝わったらすごく素敵だと感じた。

③ これかれの自分へ。

- ・世屋での出来事を友達やまわりの人に語ります。
- ・自分の村も多くの問題があるが、見習っていい地域を目指したい。
- ・ご飯を大切に。日本の都市の農村化の関係、自給率の問題についてしっかり考えるようにする。
- ・自分の視野の狭さに気づかされ、心の広い人間になりたい。
- ・食の大切さや自然との共存を忘れたくない。新鮮な気持ちのまま色々なことにチャレンジしたい。



【受け入れ】香港教育大学、グループワークキャンプ in 世屋

日時：2009年4月4日(土)～18日(日)

参加者：石黒智絵(ナイススタッフ)、椿原誠(福岡)、ドリス、キャシー、トレイシー、ポリー、ピザ、ベラ、ピン、ベス、シンディー、ジェシカ、ホワイトピッグ、アンソン(香港教育大学学生12名)

作業指導・協力：小川雅道氏、井之本泰氏、坂田正美氏、溝口兵一郎氏、溝口喜順氏、小林康司氏、木村マルシオウイ氏、上世屋のみなさま

桜の咲いた頃、NGO・NPO 日本国際ワークキャンプセンターとの共催でワークキャンプを開催しました。香港教育大学の学生12名、日本人2名が二週間ぶーたんに滞在しながら、ぶーたん横の崩れた蔵の解体、上世屋公民館・慈眼寺の雪囲い撤去と溝掃除、農家手伝いなどを行いました。作業の他にも岩滝の小学生との交流、山菜摘み、お花見、ばら寿司作り、餅つき、たこ焼きなどを行い、地域の住民・自然とのふれあいを学び、世屋での暮らしを満喫しにぎやかな二週間でした。

2009年(平成21年)4月12日 日曜日

地



シイタケの菌を木に打ち付ける香港の大学生ら
(宮津市松尾)

日本の里山に関心を
持っている香港の大学
生たちが今、宮津市上
世屋の古民家に寝泊ま
りし、地域の人々と交
流を短期間派遣する取り
組んで、NPO法人特
定非営利活動法人「里
山ネットワーク世屋」
と「NICE」関西支
所が協力した。

宮津 古民家で農家と交流

香港の学生が里山生活

今月五日に十二人の
学生が世屋地区を訪
れ、古い民家を活用す
るNPOの事務局に宿
泊。学生たちはほとん
ど日本語が話せないた
め、身ぶり手ぶりも交
えて農家の人たちと交
流を深めている。
これまで、使われな
くなった蔵の解体作業

や田植えの準備、シイ
タケの菌打ちなどを手
伝い、里山の生活を体
験。ビニールハウス作
りにも取り組んだ黎培
莉さん(21)と林穎怡
さん(19)は「香港に
は世屋のような里山は
ほとんどなく、ここで
の生活を楽しんでいま
す」と話していた。
(小山愛生)



▲学生が準備した遊びに子どもたちは
おおはしゃぎ(学校跡にて)



▲蔵は掛声かけてロープでひっぱり崩した



▲地域の方々とのふれあいから「自分の国
の農業や田舎に目を向けたいという学生達

【受託】緊急雇用対策～棚田の再生整備

日時：2009年4月20日(月)～5月29日(金) うち21日間

4月～5月に、宮津市から受託事業として棚田の再生整備を行った。新たに男性7名を雇用し、上世屋のワイヤーメッシュ(イノシシ柵)の設置、農道の整備、草刈り、松尾の溝掃除等を行った。

■□イベント・会議のご案内□■

6/28(日)13:00—16:00

「婆爺ニア演芸会'09」@畑地区

ふるさと会議世屋主催による演芸会。地域住民による出し物や、桂文華氏による落語独演会、世屋地区の写真展、特産品直売などが行われます。ご家族・お友達お誘い合わせのうえご参加ください。ぶーたんでも券の販売を行っています。

場所：旧畑小学校講堂・畑地区公民館

鑑賞料：1,000円（前売りのみ）

7/4(土)15:00—5(日)12:00

「世屋日和～米をつくる人編」

昨年から農家と共同で始めたお米販売。「世屋のお米」生産者と消費者が集い、交流、情報交換、意見を交わす「つながり」作りを目的にした一泊二日のプログラムです。他地域での米販売の現状を知ったり、農業手伝いを通して地域や農家の現状を知る機会になればと思います。もちろん「世屋のお米」を食べてない方も大歓迎。

内容：4日 りょうし料理と丹後のおいしい夕べ

5日 松尾たんぼ散策とフォイ百姓になる

宿泊：里山ネットワーク世屋事務所

参加費：大人3,500円

（日帰り 2,000円）

持物：お泊りセット、寝袋（レンタルあり）、着替え、帽子、マボトル、お酒類・飲物（4日夜分は持寄りをお願いします）

問合せ・申込み：事務局 磯田

7/8(水)13:00—14:00

祇園祭ササ刈り会議@ぶーたん

今年も8月20日頃から笹刈を行うための打ち合わせを行います。昨年度の反省、今年の体制づくりについて話し合います。目標の200万枚のためには刈り手、運び手まだまだ募集中です。世屋以外にも取組に興味があるという人・地域があれば、ぜひ紹介をお願いします。

7/15(水)19:00—20:00

全体運営会議@ぶーたん

活動の現状報告や企画を行う場として2ヶ月ごとに運営会議を行います。理事、事業担当者だけでなく会員は誰でも参加できる情報交換の場です。ぜひご参加ください。理事および事業担当者で参加出来ない方は事務局までご連絡ください。

内容：4～6月報告、7～9月活動計画づくり等

8/8(土)10:30—12:00

「上世屋合同草刈り」

毎年恒例となっている丹後村おこし開発チームとNPO美しいふるさとを創る会との合同草刈り。今年もお盆前に学校周辺をきれいにしましょう。

持物：軍手、帽子等の暑さ・日焼け対策、草刈り機や鎌など草刈出来る道具

備考：草刈り機用混合油はこちらで準備します。

■□お知らせ・お願い□■

お風呂が整備されました

（株）飯尾醸造の資金支援と梅本悦二理事の全面協力により、ぶーたんのお風呂場が整備されました。脱衣場も出来て、明るなお風呂場になりました。ありがとうございました！これからも会員みなさんに活用してもらいながら、さらなるぶーたん整備を進めていきたいと思っております。

ぶーたんに売り場ができました

世屋のおみやげにと、ぶーたんの売り場を新設しました。少しずつ商品陳列が進んでいますが、常温で保存できる食べ物や本など世屋地域にかかわる商品を集めています。よろしくお願ひします。

NEWS LETTER ニュースレター No.23

発行：NPO 法人里山ネットワーク世屋 理事長 飯尾毅 編集：磯田有美恵

印刷協力：（株）飯尾醸造 発送：事務局ぶーたん

NPO 法人 里山ネットワーク世屋

●事務局 〒626-0227 京都府宮津市上世屋 560-1

電話/FAX：0772-47-3540 メール：bhatan@mx.nkansai.ne.jp （磯田）